

令和 7 年度

県営土地改良事業変更計画概要書

(農業用排水施設整備)

I 計画変更内容

II 計画変更を必要とする理由

III 変更後の土地改良事業計画の概要

【両筑第 6 地区】
小郡市
朝倉市
朝倉郡筑前町
三井郡大刀洗町

I 計画変更内容

県営両筑第6地区 土地改良事業変更計画概要 (農業用排水施設整備)

項目	変更前			変更内容	変更後		
地区面積	203.0 ha			地区編入面積	3.4 ha		
				地区除外面積	1.4 ha		
				2.0ha増	合計	205.0 ha	
主要工事 計画	工種	事業量	単位	増減なし	工種	事業量	単位
	農業用排水施設	3,486	m		農業用排水施設	3,486	m
工事着手 及び 完了年度	自	令和 2年度		2ヶ年延長	自	令和 2年度	
	至	令和 7年度			至	令和 9年度	
	6ヶ年		8ヶ年				
事業費 (事務費 含む)	877,000 千円			425,543千円増	1,302,543 千円		

II 計画変更を必要とする理由

1. 地区面積の変更

地区編入：事業計画時に受益地に含まれていた各筆調書の面積を精査したことによる増
地区除外：転用による除外

2. 主要工事計画の変更 なし

3. 事業費の変更

改築工法で計画していた区間において、既設管の埋設位置と沿線環境から、一部反転工法へ変更したことによる事業費の増。また、改築区間において、素掘り施工を計画していたが、土質調査の結果、簡易土留めによる施工へ変更したことによる増。

上記の理由により、事業費を増額するものである。
なお、事業費増減の内訳及び事業費変動率は次のとおり。

・事業量変更	0 千円
・工法変更	280,250 千円
・自然増減	122,769 千円
・入札等の増減	
・その他（事務費）	22,524 千円

Ⅲ 変更後の土地改良事業計画の概要

第1章 目 的

地区内の用水施設（幹線水路 86 k m、頭首工 5 ヶ所、揚水ポンプ 179 台）は、老朽化による水路の不等沈下や破損による漏水が発生しており、用水の供給に支障をきたし、補修対策費用が増加しているため、早急に施設の保全対策を行い、用水の安定供給と維持管理費の節減を図る必要がある。

第2章 地域の所在地及び現況

（1）地域の所在

福岡県小郡市・朝倉市・朝倉郡筑前町・三井郡大刀洗町

（2）地積

(単位：ha)

市町村名	田	畑	原野	山林	その他	計
小郡市	324	112				436
朝倉市	1,295	119				1,414
朝倉郡筑前町	1,078	91				1,169
三井郡大刀洗町	325	89				414
計	3,022	411				3,433

(3) 対象となる施設の状況及び機能保全対策工事の必要性

項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積	構 造 及 び 規 模		新設 又は 更新 年月日	機能保全対策工事の必要性
1. ダム	—	—				
2. 頭首工	下瀬頭首工	(3,433)	洪水吐 魚道 土砂吐	27.0m×1.25m×2連 2.0m×1ヶ所 5.0m×1.53×1連	S53	施設の老朽化に起因する機能低下のため用水 確保が困難となっているため。
	本郷頭首工		洪水吐 魚道 土砂吐	20.0m×1.7m×2連 2.0m×1ヶ所 10.0m×1.7×1連	S48	
	上屋敷頭首工		洪水吐 魚道 土砂吐	21.5m×1.30m×2連 2.0m×1ヶ所 3.0m×1連	S48	
	小田頭首工		洪水吐 魚道	19.0m×1.7m×2連 2.0m×1ヶ所	S49	
	乙隈頭首工		洪水吐	22.5m×1.8m×1連	S44	
3. 揚水 機場	名称	台数	全用水量 用水量			
	I 団地	36	0.834 0.009～0.101			
	II 団地	19	0.430 0.006～0.080			
	III 団地	47	0.696 0.004～0.053			
	IV 団地	22	0.358 0.003～0.053			
	V 団地	19	0.402 0.006～0.064			
	Ⅰ 団地	16	0.319 0.006～0.054			
	R 団地	20	0.328 0.006～0.027			
	計	179	3.367			
4. 幹線 用水路	施設名		延長	構造		
	寺内幹線第1号水路	3,433	3,486	コンクリートパイプ φ900m/m～φ600m/m	S59	
	寺内幹線第2号水路		4,135	コンクリートパイプ φ600m/m～φ500m/m 石綿管 φ450m/m～φ350m/m	S55	
	寺内幹線第3号水路		2,583	石綿管 φ500m/m～φ300m/m	S55	
	寺内幹線第4号水路		4,940	石綿管 φ450mm～φ350mm	S60	
	福田幹線第1号水路		4,173	コンクリート管 φ800m/m～φ500m/m 石綿管 φ400m/m～φ350m/m	S58	
	福田幹線第3号水路		1,676	石綿管 φ450m/m～φ400m/m	S57	
	夜須幹線第1号水路		1,698	コンクリートパイプ φ700m/m～φ600m/m 石綿管 φ450m/m	S45	
	夜須幹線第2号水路		2,539	コンクリートパイプ φ800m/m～φ600m/m 石綿管 φ300m/m	S46	
	夜須幹線第3号水路		3,330	コンクリートパイプ φ800m/m～φ500m/m 石綿管 φ400m/m～φ350m/m	S48	
	夜須幹線第4号水路		817	石綿管 φ250m/m～φ200m/m	S46	
	夜須幹線第5号水路		253	石綿管 φ300m/m	S46	
	夜須幹線第6号水路		849	石綿管 φ450m/m～φ350m/m	S49	
	夜須幹線第7号水路		1,607	コンクリートパイプ φ500m/m～φ350m/m 開水路 1.0×0.6～2.0×1.0	S48	
	夜須幹線第8号水路		1,306	コンクリートパイプ φ600m/m～φ450m/m 開水路 0.7×0.6	S48	

項目 施設名	施設名	受益面積	延長	構造	新設 又は 更新 年月日	機能保全対策工事の必要性
4. 幹線 用水路	立石幹線第1号水路	3,433	1,811	コンクリートパイプ φ700m/m～φ600m/m 石綿管 φ400m/m～φ300m/m 開水路 0.6×0.5	S48	施設の老朽化に起因する機能低下のため用水 確保が困難となっているため。
	立石幹線第2号水路		719	開水路 0.6×0.5	S47	
	立石幹線第3号水路		3,090	コンクリートパイプ φ900m/m～φ500m/m 石綿管 φ400m/m～φ350m/m	S49	
	立石幹線第4号水路		1,852	コンクリートパイプ φ600m/m～φ400m/m 石綿管 φ400m/m～φ350m/m	S47	
	立石幹線第5号水路		2,096	コンクリートパイプ φ600m/m～φ500m/m 石綿管 φ400m/m～φ350m/m	S47	
	立石幹線第6号水路		5,327	コンクリートパイプ φ800m/m～φ600m/m 石綿管 φ400m/m～φ300m/m	S50	
	立石幹線第7号水路		3,319	コンクリートパイプ φ700m/m～φ500m/m 石綿管 φ400m/m～φ300m/m	S52	
	立石幹線第8号水路		882	石綿管 φ400m/m～φ250m/m	S52	
	立石幹線第9号水路		1,648	石綿管 φ400m/m～φ250m/m	S50	
	立石幹線第10号水路		1,102	塩ビ管VU φ300m/m	S56	
	三輪幹線第1号水路		6,863	逆サイホン φ800m/m～φ700m/m 開水路 1.0×0.7～1.0×0.9 暗渠 1.0×0.7～1.0×0.8	S46 S47 S48 S52 S55	
	三輪幹線第2号水路		2,570	開水路 1.0×0.7～1.3×0.8 暗渠 1.0×0.7～1.0×1.1	S44	
	甘木橋幹線第1号水路		1,960	開水路 1.4×1.0～1.0×0.8	S49	
	甘木橋幹線第2号水路		1,701	開水路 1.3×0.8～1.0×0.7 暗渠 1.0×0.7～1.0×1.1 逆サイホン φ700m/m～φ600m/m	S47	
	甘木橋幹線第4号水路		1,494	コンクリートパイプ φ700m/m～φ500m/m	S47	
	甘木橋幹線第5号水路		2,310	開水路0.8×0.7 暗渠0.8×0.7	S46	
	甘木橋幹線第6号水路		2,180	開水路 1.6×0.5～0.8×0.7 コンクリートパイプ φ700m/m～φ450m/m	S45	
	下湖幹線第1号水路		3,819	コンクリートパイプ φ1,000m/m～φ500m/m	S53	
	西部幹線第1号水路		2,155	サイホンφ1,000m/m コンクリートパイプ φ700m/m～φ500m/m	S55	
	上屋敷幹線第1号水路		2,149	開水路 1.0×0.65～0.8×0.6	S59	
	本郷幹線第1号水路		525	開水路 1.0×0.8～1.0×0.7 暗渠 1.0×0.8	S46	
	本郷幹線第2号水路		1,694	コンクリートパイプ φ800m/m～φ600m/m 開水路 1.5×0.75～0.8×0.65 暗渠 2.0×1.0～1.3×1.0	S46	
	小田幹線第1号水路		675	コンクリートパイプ φ700m/m	S50	
	小田幹線第2号水路		799	開水路 1.2×0.9～1.0×0.6	S54	
5. その他 かんがい 施設	—	—				
	計	3,433				

第3章 施設整備計画

(1) 計画の要旨

当該事業整備路線は、管径がφ900mm未満であり、補修工法が採用できない。このため、補強工法とし、管路設置位置の条件により改築が可能な区間においては、経済比較に基づき改築工法（FRPM,DCIP等）とするが、宅地等に隣接し、開削が困難な区間においては管更生工法（反転工法等）も採用する。

(2) 土地利用の現況及び計画

(単位：ha)

地目		田	畑	樹園地	原野	山林	その他	計
面積	現況	192.0	11.5	1.5				205.0
	計画	192.0	11.5	1.5				205.0

(3) 主要工事計画

路線名	構造及び規格	数量	備考
寺内1号水路	水路補修工事（φ900～φ600）	L=3,486m	
計		L=3,486m	

(4) 工期

令和2年度～令和9年度（予定）

(5) 環境への配慮

土砂や濁水の発生を極力防止し、発生した場合でも直接下流へ流さないなど充分注意して施工を行う。

第4章 費用の概算

(1) 事業費の概算

事業費	1,229,000 千円
事務的経費	73,543 千円
計	1,302,543 千円

(2) 負担割合

(単位：％)

費用・区分	国	県	市町村	受益者
事業費	50	25	22.5	2.5
事務的経費	0	100	0	0

第5章 効 用

(1) 年総効果額

項目	区 分	年総効果額（千円）	年増加所得額（千円）
食料の安定供給の確保に関する効果		169,380	2,321
	作物生産効果	161,810	
	品質向上効果	15,732	
	営農経費節減効果	△7,970	
	維持管理費節減効果	△192	2,321
農業の継続的発展に関する効果		21	
	災害防止効果（農業関係資産）	21	
農村の振興に関する効果		412	
	災害防止効果（一般資産）	412	
多面的機能の発揮に関する効果		306	
	災害防止効果（公共資産）	306	
その他の効果		17,562	
	国産農産物安定供給効果	17,562	
計		187,681	2,321

(2) 投資効率

項目	区 分	算 式	数 値
総事業費		③=①+②	2,595,358 千円
	当該事業による費用	①	1,386,787 千円
	その他費用（関連事業費+資産価額+再整備費）	②	1,208,571 千円
年償還額		④	2,382 千円/年
	うち機能向上分	④'	－ 千円/年
年総効果（便益）額		⑤	187,681 千円/年
現況年総農業所得額		⑥	218,632 千円/年
年総増加農業所得額		⑦	2,321 千円/年
評価期間（当該事業の工事期間+40年）			48 年
割引率			0.04
総便益額（現在価値化）		⑧	5,013,557 千円
総費用総便益比		⑨=⑧÷③	1.93
総所得償還率		⑩=④÷⑥	1.1 %
増加所得償還率		⑪=④'÷⑦	－ %

第6章 他の事業との関係

区分	事業名	事業 主体	受益面積 (ha)	実施年度	事業内容
基本事業	両筑平野用水Ⅱ期事業	水機構	4,675	H17~H29	貯水池・用水施設

第7章 計画概要図

別紙図面のとおり

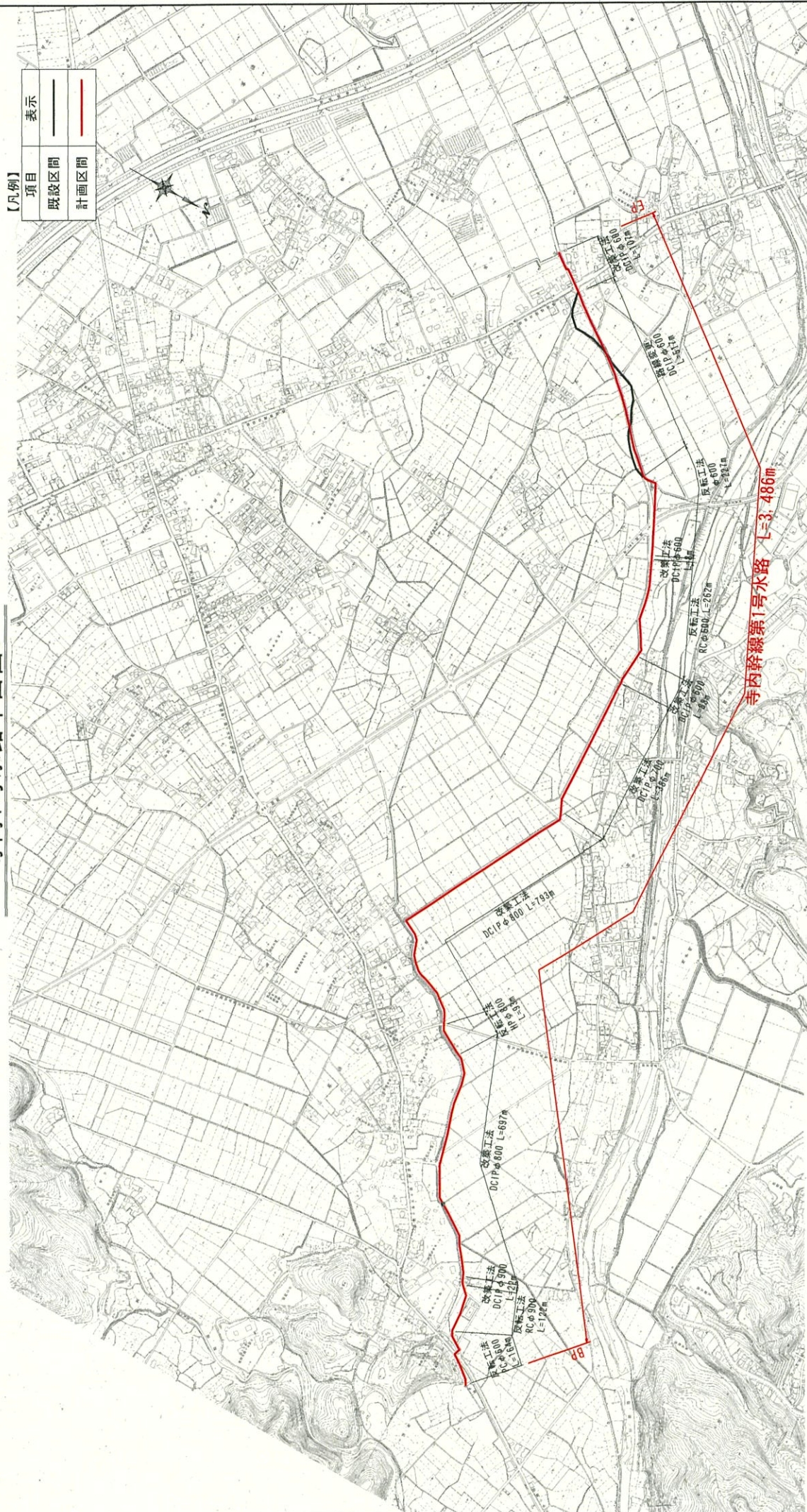
圖面平畫



寺内1号水路平面図

【凡例】

項目	表示
既設区間	—
計画区間	—



寺内幹線第1号水路 L=3,486m

